



市議会議員 大友 かく子



市議会議員 石田 ひろこ

生活者ネットワークの活動リポート

NO.77

発行者／西東京・生活者ネットワーク 電話／042-453-4121

発行責任者／清水 浩子 発行日／2012年10月31日

〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102

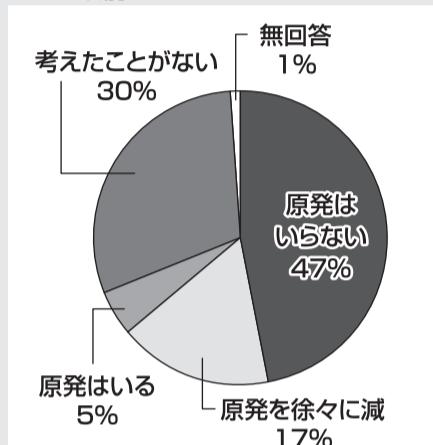
FAX／042-410-0014 E-mail／nishitokyo@seikatsusha.net



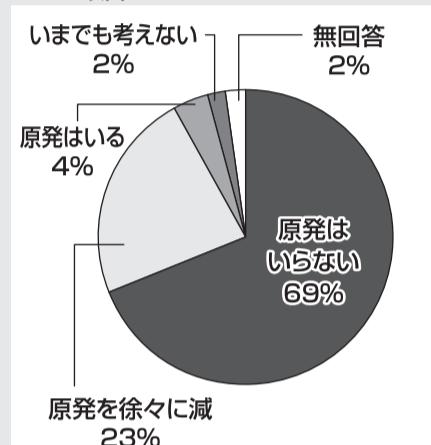
「これからのエネルギーを考えるアンケート」集計結果(抜粋)

原発に対する考え方は変わりましたか。

3.11以前



3.11以降



3.11以降原発はいらないという意見が増えていますが、事故が大きく影響しているといえます。特に、考えた事のなかった方の88%が3.11以降に原発はいらない・徐々に減らすに転向しています。

太陽光発電設置比較

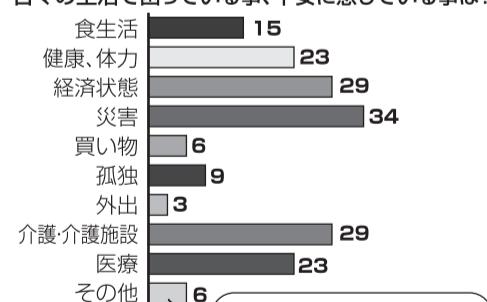
工事費用 (発電能力)	工事日	電気料(月平均)		売電料金 (月平均)	特徴
		工事前	工事後		
Aさん宅 1,510,768円 (4kw)	2012年 4月	15,065円	10,048円	6,458円	38年前の建物。 2年前に耐震工事済み。
Bさん宅 2,104,080円 (5.04kw)	2011年 12月	16,000円	6,511円	20,085円	新築時に設置。 エネファーム、全ての照明がLEDなどの省エネ住宅。
Cさん宅 1,254,000円 (4kw)	2010年 7月	41,547円	10,034円	10,150円	建替え工事に伴い設置。 エネファームとのダブル発電。床暖房(エネファームで発生する温水を利用)。

*工事費用は、補助金などを差し引いた、実際に払ったお金です。

2012年市民アンケート集計結果

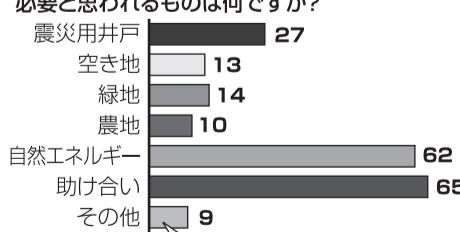
福祉編

日々の生活で困っている事、不安に感じている事は?



防災編

今回の東日本大震災及び原発事故の教訓として、必要と思われるものは何ですか?



政府のリーダーシップ 各自保存食の準備 トイレの確保と水
人々の心構え 原発を廃止していくための科学技術
お金 企業の協力 迅速・正確な情報開示 シェルター

遊び場の確保を求める意見が多く、特に小中学生の遊び場(広場)、居場所づくりが望まれます。さらに災害時の子どもの安全確保に対する不安があり、適切な情報提供が必要です。安心して子育てできるまちにしていくための支援が必要です。

福祉編

遊び場の確保を求める意見が多く、特に小中学生の遊び場(広場)、居場所づくりが望まれます。さらに災害時の子どもの安全確保に対する不安があり、適切な情報提供が必要です。安心して子育てできるまちにしていくための支援が必要です。

遊び場の確保を求める意見が多く、特に小中学生の遊び場(広場)、居場所づくりが望まれます。さらに災害時の子どもの安全確保に対する不安があり、適切な情報提供が必要です。安心して子育てできるまちにしていくための支援が必要です。

遊び場の確保を求める意見が多く、特に小中学生の遊び場(広場)、居場所づくりが望まれます。さらに災害時の子どもの安全確保に対する不安があり、適切な情報提供が必要です。安心して子育てできるまちにしていくための支援が必要です。

遊び場の確保を求める意見が多く、特に小中学生の遊び場(広場)、居場所づくりが望まれます。さらに災害時の子どもの安全確保に対する不安があり、適切な情報提供が必要です。安心して子育てできるまちにしていくための支援が必要です。

遊び場の確保を求める意見多く、特に小中学生の遊び場(広場)、居場所づくりが望まれます。さらに災害時の子どもの安全確保に対する不安があり、適切な情報提供が必要です。安心して子育てできるまちにしていくための支援が必要です。

遊び場の確保を求める意見多く、特に小中学生の遊び場(広場)、居場所づくりが望まれます。さらに災害時の子どもの安全確保に対する不安があり、適切な情報提供が必要です。安心して子育てできるまちにしていくための支援が必要です。